

津久井やまゆり園 利用者の生活

あのおぞましい事件から、早くも4年が経とうとしている。
そこで、利用者の方々が、どのような暮らしをしていたのかを見直してみたいと思う。

写真は、昨年（2019）の12月に、神奈川県黒岩知事が息子に会いにきた時のもの。これより前、12月の初めに、知事は「津久井やまゆり園」の運営団体である「かながわ共同会」の指定管理を見直す旨の発言をしている。この訪問の2日後だったか、知事は「津久井やまゆり園 芹が谷園舎」に説明のため足を運んでいる。

次頁の手紙は、昨年の12月に黒岩知事から届いた手紙。恐らく事件後「津久井やまゆり園」に在籍していた方全員の保護者、後見人に送られたのだと思う。

12月に知事が息子のところへ来たのは、ただ会いに来たというわけではない。彼は謝罪をしに来たのだ。息子に関しては、明らかな拘束や虐待の記録がある訳でも無い。では、知事は何を謝罪したのか。

それは、息子が「津久井やまゆり園」で受けていた、決して十分とは言えない支援に対してであり、まともな生活ができていなかった事に対してである。

つまり、知事は「津久井やまゆり園」がどのような支援をしていたのかを知っていたということだ。



■利用者支援検証委員会

知事の指定管理者見直しの発言に「かながわ共同会」は猛反発したわけだが、そこで「津久井やまゆり園利用者支援検証委員会」を立ち上げる事となった。

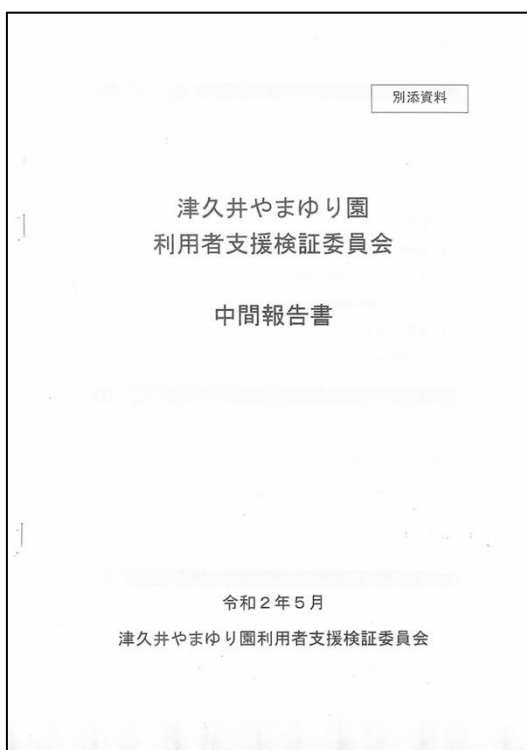
同じ時期に「津久井やまゆり園事件」の裁判がはじまり、当初はその裁判が進行中の2月末に、検証委員会の中間報告が出るはずだった。

しかし、コロナ騒ぎもあって遅れ、かたや裁判は僅か16回ほどの公判で終わってしまい、3月の半ばには予想通りの死刑判決が出て、しかも被告が上告しないということで、死刑が確定してしまった。

その後2ヶ月以上が過ぎて、ようやく検証委員会の中間報告が出たのは5月になってからだった。

しかしながら、その内容は私にとっては非常に物足りないものだった。

報告では主に、虐待、身体拘束、居室施設、ヒヤリハットな



どに言及があるのだが、私が一番重要だと思う所の、利用者の日常生活、普段どのような支援を受け、どのような暮らしをしているのかという部分に対する検証が抜け落ちていたからだ。

彼らが毎日受けている支援のあり方、そこに何か問題があって、結果として拘束や虐待が起きてくるのだろう。そこをしっかりと検証して欲しいと思った。

本当は3月には検証委員会に意見書を送ろうと思っていたのだが、事情があったのと、もう一度息子の「津久井やまゆり園」での生活を精査していたこともあり、中間報告が出た後でようやく送ることができた。

ところが、驚いたことに私が意見書を送ったとたんに「検証委員会」は中止するという発表があった。

■範囲を広げ過ぎて、「津久井やまゆり園」のことが曖昧になるのでは？

検証委員会が中止になったのは、まさか私の意見書のせいではないとは思ったが、県の「福祉こともみらい局」へ抗議しようと考えていた矢先に、毎日新聞の上東麻子さんの記事や、ピープルファーストはじめ多くの人たちからの反対の声が上がり、委員会は部会という形になって、「津久井やまゆり園」だけではなく、全ての県立の障害者施設を検証するという一方で、存続することに落ち着いたようだ。

それはそれでいいのだが、範囲を広げ過ぎて、「津久井やまゆり園」のことが曖昧になるのではないかということが懸念される。

■黒岩知事からのから謝罪の手紙

次ページの写真は、昨年の12月に黒岩知事からきた手紙。恐らく事件後「津久井やまゆり園」に在籍していた方全員の保護者、後見人に送られたのだと思う。

ところで12月に知事が息子のところへ来たのは、ただ会いに来たというわけではない。彼は謝罪をしに来たのだ。息子に関しては、明らかな拘束や虐待の記録がある訳でも無い。では知事は何を謝罪したのか。

それは、息子が「津久井やまゆり園」受けていた、けっして十分とは言えない支援に対してであり、まともな生活ができていなかった事に対してである。つまり、知事は「津久井やまゆり園」がどのような支援をしていたのかを知っていたということだ。

恐らく、黒岩知事は何らかの機会に「津久井やまゆり園」の支援の実態を精査したのだろう。そうでなければ、単に園の説明を聴いたくらいでは、そこに暮らす利用者の状況など、まず分かりようが無いからだ。

実際、私のように利用者の親であり、割と頻繁に園に通っていた方（1週間に1度ほど）だとしても、その生活の実態は殆ど分からないものと言える。

あのおぞましい事件から、早くも4年が経とうとしている。そして今、「津久井やまゆり園」の「支援検証委員会」の中間報告が出たのを機に、もう一度そこで利用者の方々が、どのような暮らしをしていたのかを見直してみたいと思う。

前にも一度事件後のことを書いたのだが、何やかや忙しかったりで途中で途切れてしまった。

今回は、検証委員会に送った意見書に沿って、話を進めてみたい。

謹啓 初冬の候、平野様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

津久井やまゆり園のご利用者並びにご家族の皆様には、事件から3年が過ぎる中、現在も仮移転先での暮らしが続いており、様々なご苦勞をお掛けしておりますことに、まずもってお詫びを申し上げます。

また、ご家族の皆様には、津久井やまゆり園再生基本構想の実現に向けて、利用者の意思決定支援など、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

県は、「津久井やまゆり園再生基本構想」に基づき、建て替える「津久井やまゆり園」と、新たに整備する「（仮称）芹が谷やまゆり園」の両施設について、元の津久井やまゆり園の指定期間である令和6年度までの間は、社会福祉法人かながわ共同会を指定管理者とする方向で調整してきました。

津久井やまゆり園の職員の皆様が、あの凄惨な事件からこれまでの間、利用者に取り組んでこられた姿を、私は忘れていません。

そうした中、先日、かながわ共同会が指定管理する愛名やまゆり園の元園長が、子どもに対する強制性交罪で逮捕されるという、県民の信頼を裏切る、許しがたい事件を起こしました。

この元園長は、かながわ共同会の理事でもありました。社会福祉法人として、人権を尊重し、すべての人の尊厳を守るべき立場にある、かながわ共同会の道義的責任は看過できません。

その後、この事件に端を発して、かつての津久井やまゆり園の利用者支援に関し、車いすに長時間拘束していた、園の外に出たの散歩がほとんどなかったなど、問題点を厳しく指摘する情報が、改めて次々と私のもとに寄せられてきました。

また、県議会では、かながわ共同会を、「津久井やまゆり園」と「（仮称）芹が谷やまゆり園」の指定管理者とすることについて、再考を求める意見もありました。

加えて、何より、私が衝撃を受けたのは、利用者の意思決定支援を進める中で、かながわ共同会からグループホームや他の法人の施設に移った方々が、自由に買い物をしたり、地域の自治会の活動に参加するなど、生活を楽しみ、希望に満ち溢れた表情で、その人らしく暮らす姿を見たことでした。それは、感動的なシーンでもありました。

県は、津久井やまゆり園の再生によって、神奈川の新しい障がい福祉のあり方をお示ししていく必要があると考えています。そのためには、その運営は、人権を尊重し、利用者中心の支援を実現するものでなければなりません。

そこで、新たな「津久井やまゆり園」と「（仮称）芹が谷やまゆり園」が、ご利用者、ご家族はもとより、県民の皆様からの信頼を受けて再スタートできるよう、これまでの方針を見直し、いずれの施設についても、指定管理者を公募で選定する方針に変更することを決断しました。

そのためには、令和6年度まで継続している、元の津久井やまゆり園の指定期間を短縮する必要があり、「津久井やまゆり園の管理に関する基本協定書」に基づき、かながわ共同会に協議を申し入れていきます。

また、新たな施設に令和3年度中に入居していただくためのスケジュールを考え、12月5日の本会議で、私の考えについて発言するとともに、より早くご家族の皆様にお伝えする必要があると考え、こうしてお手紙を書かせていただいております。

津久井やまゆり園のご利用者並びにご家族の皆様には、方針の変更について、ご理解いただけますよう、私から丁寧にご説明申し上げたいと考えており、改めて、ご連絡させていただきます。

何よりも、ご利用者の皆様が望む暮らしを実現できるよう、お一人おひとりのご希望を丁寧に伺いながら、心をこめて対応していく所存でございます。

年末ご多忙の折ではございますが、風邪など召されませぬようどうぞご自愛ください。

謹白

令和元年 12 月

平野 泰史 様

神奈川県知事

黒岩祐治

■息子（平野和己）の経歴

最初に私の息子が「津久井やまゆり園」に入所してから退所し、現在に至るまでの経緯を記しておきたい。

弘済学園に在籍中、2013年から2014年にかけて「津久井やまゆり園、すばるホーム」でショートステイ利用を何回か繰り返す。

2014年6月に「弘済学園」を卒園し、「津久井やまゆり園」へ入園（すばるホーム）。（榎本ホーム長）

2016年7月26日、「津久井やまゆり園事件」

事件後体育館で生活

8月9日、「三浦しらとり園」へ移動

10月15日、「三浦しらとり園」から家へ引き取る

10月24日、「津久井やまゆり園」へ預ける

10月27日、「津久井やまゆり園」へ復帰、しばらく体育館で寝起き

11月、「みのりホーム」へ

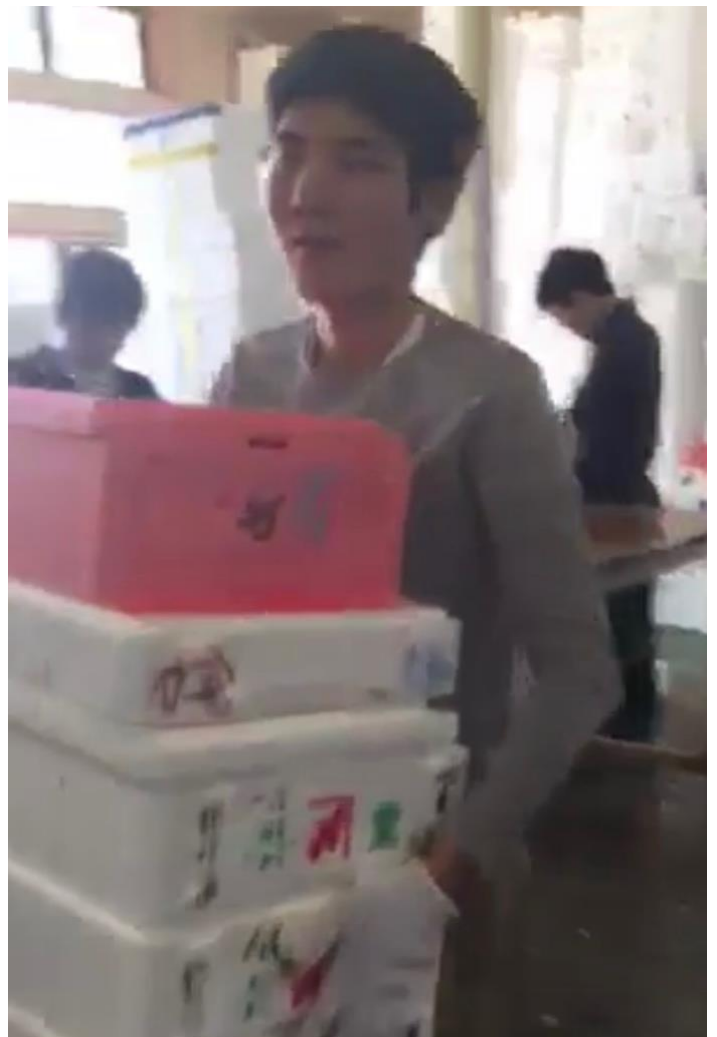
2017年4月「津久井やまゆり園芹が谷園舎」へ移動

2018年5月31日「津久井やまゆり園」を退園

同日、同愛会まちなと事業所、グループホーム「ななほしてんとう」へ入居

2018年10月、同愛会「てらん広場」へ移動

現在月曜～金曜は主に同愛会の事業所「リプラス」で発泡スチロールの処理の仕事をしている。



■生活介護とは名ばかりで。。

印刷日時 2014年08月01日 10:41:47 PAGE 1/8

個人記録

平野 和己 様

			園長	部長	課長	寮長・主任	担当
日付 時間	分類	記録者	記録内容				
14/07/01 [09:30] (火)	[日中活動]	■■■■	午前の活動では、ドライブに参加している。				
14/07/01 [11:00] (火)	[生活]	■■■■	昼食前、食堂とリビングの間を行ったり来たりしている。笑顔はなく、独り言をつぶやきながら歩いている。				
14/07/01 [13:30] (火)	[日中活動]	■■■■	午後の活動では、個別スペースにて絵を描いた後、他の利用者様と共に散歩へ出かける。表情良く歩いていた。				
14/07/01 [22:30] (火)	[生活]	■■■■	23時頃まで食堂のテレビを見て過ごされる。23:15から廊下を歩き来し、23:30頃に居室に入られて就寝する。就寝の際、マットレスの上に横になり、敷布団を上にかけている。掛け布団は横によけて、使用してなかった。				
14/07/02 [09:30] (水)	[日中活動]	■■■■	午前の活動では、表情良くなかみせ方面への散歩に参加している。				
14/07/02 [13:30] (水)	[生活]	■■■■	食堂にて椅子に座りテレビを観ていたが、■■■■様がいつも使っている椅子であったため、■■■■様が平野様に対して自分の椅子であることを伝えている。職員が間に入ったのでトラブルには至らないが、平野様の表情は硬く、テレビに手を伸ばす等のことがある。 ご本人の私物であるデジカメを渡すと、次第に落ち着きを取り戻す。				
14/07/02 [15:00] (水)	[生活]	■■■■	職員と話している際には笑顔が見られるが、入浴の声かけをすると返事がなく、嫌がるような表情をされる。ご本人の気持ちが切り替わらず、本日の入浴は見合わせる。				
14/07/02 [23:00] (水)	[健康]	■■■■	23時、就寝を確認する。夜間帯は良眠であった。				
14/07/03 [07:30] (木)	[生活]	■■■■	起床時から表情が硬く、更衣の時や職員の声かけに対して動かなくなる。職員がマンツーマンで話し相手をする事で笑顔になり、その後に更衣等を済ませることができた。				
14/07/03 [09:30] (木)	[日中活動]	■■■■	午前の活動では、集中して絵を描いている。散歩に誘うが、絵を描きたいとの希望で、そのまま続ける。 次に、しばらく雑誌を眺め、昆虫のシールを紙に貼っている。 コーヒーの声かけをするが、作業棟を出ようとすることがある。ソファへ誘導すると、コーヒーを飲まれる。				
14/07/03 [23:30] (木)	[生活]	■■■■	23:30食堂にてTVを観ていたが、急に居室に戻られる。食堂TV前の椅子上に多量の排泄あり。また居室ガラス戸及び床に少量の排泄の跡がある。衣服を全て着替えるようお願いすると、更衣される。その際、TVを終えること、携帯電話（電池切れ）を職員に預けて就寝されることを提案すると承諾される。0時には就寝されたことを確認する。				
14/07/04 [09:30] (金)	[日中活動]	■■■■	9:30活動室へ来られ、ドライブまでの時間は絵を描いて過ごす。ドライブへの声かけをするが、絵を描くことに集中していて席を離れられない。ご本人の区切りがいいところでドライブに参加する。				
14/07/04 [12:00] (金)			息子の個人記録(原本) 日中活動とあるのが、園内にある作業棟に行っている時。				

下

ご存知の方も多いと思うが、入所施設での支援は 2 本立てになっている。夜間と土日を見る「施設入所支援」と月曜から金曜までの昼間を見る「生活介護」である。普通施設では、月～金の朝 9:00 くらいから 15:30 くらいまで、生活している場所から別の所にある作業所などに通い、障害の程度に合わせて様々な作業や機能訓練などをやるのが一般的だ。

「津久井やまゆり園」の入園時の説明でも、月曜日から金曜日の日中の午前・午後は作業棟で日中活動（生活介護）を行い、ただ土日は職員も少なく外へ出るのは難しいかも（交代で 2～3 週に 1 回くらいドライブに行く程度）ということだった。

ところが、半年ほどしてホーム長との会話の中から分かったことは、日中活動は毎日行っている訳ではないということだった。全 8 ホームからその日に参加できそうな人を選んで、作業へ行ってもらうのだそうだ。これを園では「ピックアップ」と呼んでいて、普通に行われているという事だった。

どのくらいの頻度で作業棟へ行っているのかと聞くと、週に 2～3 日だという。どうにかならないのかと尋ねると、何とかしたいが予算がなく、人手もない（山奥なので人が集まらない）という説明だった。

前ページの写真は、退所する少し前に園から取り寄せた在園期間の個人記録の原本から入所して 1 ヶ月後の 2014 年の 7 月のもの。そして次ページはそれを分かりやすく私がまとめたもの。

これについては、改めて詳しく説明するが、これを見ると週に 2、3 日どころではなく、殆ど日中活動をやっていなかった事が分かる。

これは園全体で上にも書いたとおり「ピックアップ」という呼称までつけて行っていたことで、うちの息子だけではないということだ。

2014年7月

日 付	午 前	午 後	備 考
7月 1日(火)	9:30～ ドライブ	13:30～ 絵を描いた後 散歩	気持が切り替わらず入浴見合わせ 食堂TV前に排尿 居室排尿跡
7月 2日(水)	9:30～ 散歩(なかみせ方面)	無し	
7月 3日(木)	9:30～ 絵を描く 散歩を拒否	無し	
7月 4日(金)	9:30～ 絵を描く ドライブ	13:30～ ドライブ	
7月 5日(土)	無し	無し	
7月 6日(日)	無し	無し	
7月 7日(月)	無し	無し	朝5時床・布団に排尿
7月 8日(火)	9:30～ ドライブ	無し	リビング掛け時計をはずす TV下の棚の扉をはずす 10:00 本人携帯を折る 午前スマホなどを投げる
7月 9日(水)	無し	無し	
7月10日(木)	無し	無し	
7月11日(金)	無し	無し	
7月12日(土)	無し	無し	
7月13日(日)	保護者会	15:00～17:30 父母と外出	
7月14日(月)	無し	無し	9:30雪を見に外へ出る 他者の部屋へ入る、物投げ等、不穏
7月15日(火)	10:00～10:50 散歩(牛鞍神社)	無し	
7月16日(水)	無し	無し	
7月17日(木)	無し	無し	
7月18日(金)	無し	無し	
7月19日(土)	無し	無し	
7月20日(日)	9:30～10:30 散歩(アトリエヨシノ)	14:45～17:30 父と外出	夕、突然不調 カーテンを引っ張る等 11:15 職員を殴る(B職員) 午後タブレットを投げる 橋本アリオ
7月21日(月)	無し	無し	
7月22日(火)	無し	無し	
7月23日(水)	無し	無し	
7月24日(木)	無し	13:30～14:50	
7月25日(金)	無し	無し	
7月26日(土)	9:30～11:00 ドライブ(藤野方面)	無し	昼食後タブレットを投げる B職員の姿を見ると顔が曇る 防災訓練 23:30 トイレ時不安
7月27日(日)	10:00～11:00 ドライブ(宮が瀬)	14:00～17:45 父と外出	
7月28日(月)	無し	無し	
7月29日(火)	無し	13:30～	
7月30日(水)	9:30～10:50 絵を描く	13:40～ プール	
7月31日(木)	無し	無し	

無しというのは文字通り何も無く、ホーム(20人程が生活する)から1歩も出ないという事である。

■息子の個人記録から

同じ入所した年(2014年)の10月初めの記録原本と、10月及び11月をまとめたもの。

個人記録

平野 和己 様

		園長	部長	課長	寮長・主任	担当
日付 時間	分類	記録者	記録内容			
14/10/07 [10:00](火)	[その他]	■■■■	10:00ホーム職員と赤馬方面へ散歩に行く。			
14/10/07 [18:30](火)	[その他]	■■■■	夕食後、テレビや本を動めてみるが、すぐに飽き、職員へ関わりを求める。			
14/10/07 [23:00](火)	[生活]	■■■■	23:00ご自身で居室に行ったため、声かけでトイレに行っていただく。その後、就寝される。			
14/10/08 [02:30](水)	[生活]	■■■■	2:30声かけでトイレに行かれるが、既に布団にも排泄されていた。			
14/10/08 [09:30](水)	[日中活動]	■■■■	午前の活動では、落ち着いて絵を描く。			
14/10/08 [10:30](水)	[情緒]	■■■■	昼食前、職員が他の利用者様と会話していると、割って入るように話しかけ、声色も変わる。甘えているような声を出し、表情は抜ける。他の職員が対応すると、いつもの表情に戻られる。			
14/10/08 [13:30](水)	[日中活動]	■■■■	午後の活動でも、集中して絵を描く。			
14/10/08 [23:00](水)	[生活]	■■■■	21時以降、食堂でテレビを観たり、居室で横になったりを繰り返す。23時頃に就寝される。			
14/10/09 [09:30](木)	[日中活動]	■■■■	9:30活動室に来られる。席を立つことなく、漫画を読んで過ごされる。			
14/10/09 [20:00](木)	[生活]	■■■■	午後帯を通して、笑顔で過ごされていた。			
14/10/09 [23:00](木)	[健康]	■■■■	21:00以降、食堂にてテレビを観て過ごされている。21:15と22:15にトイレ誘導の声かけを行い、排泄がある。22:30就床。2:00声かけにて起きていただき、トイレにて排泄あり。			
14/10/10 [11:00](金)	[生活]	■■■■	午前帯は、表情良くテレビを観たり、職員との関わりを楽しんだりする。			
14/10/10 [16:30](金)	[生活]	■■■■	入浴後にホームの廊下を歩かれており、すれ違う利用者様全員に対して「お部屋だよ。お部屋。」と言っている。トラブルを避ける目的で見守る。			
14/10/11 [09:45](土)	[余暇]	■■■■	午前帯は、秋山方面へのドライブに行かれる。			
14/10/11 [17:00](土)	[その他]	■■■■	13:30ご家族と外出され、17:00帰園される。動物園に行ってパンを3つ食べたとのこと。			
14/10/12 [10:00](日)	[生活]	■■■■	午前帯は、テレビでアニメを見るなどして過ごしている。			
14/10/12 [13:30](日)	[生活]	■■■■	午後、千木良小学校にて行われた町民運動会に参加される。ボール運びに参加され、それ以外の時は周囲に対して手を振ったり、OKサインを出したり、楽しそうにされていた。			
14/10/13 [02:30](月)	[生活]	■■■■	2:30トイレ誘導の声かけをすると、Aトイレに向かわれて排泄される。布団は濡れておらず。			

個人記録原本(2014年10月の前半)

これを見ると、やはり殆ど日中活動に行っていないのが分かる。行ったとしても1~1.5時間程度、しかも車に乗っているだけのドライブというのが多く、行動障害を改善するようなプログラムは皆無だ。

2014年10月

日 付	午 前	午 後	備 考
10月 1日(水)	9:30～ 絵描き	無し	
10月 2日(木)	9:30～ 絵描き	13:30～ 散歩(赤馬方面)	
10月 3日(金)	9:30～ ドライブ(宮が瀬方面)	無し	
10月 4日(土)	9:30～10:30 ドライブ(宮が瀬方面)	14:10～17:00 父母と外出	昼前職員の顔を叩く
10月 5日(日)	無し	無し	前夜夜尿
10月 6日(月)	無し	無し	台風
10月 7日(火)	10:00～ 職員と赤馬方面へ散歩	無し	
10月 8日(水)	9:30～ 絵描き	13:30～ 絵描き	前夜夜尿
10月 9日(木)	9:30～ マンガを読む	無し	
10月10日(金)	無し	無し	
10月11日(土)	9:45～ ドライブ(秋山方面)	13:30～17:00 父母と外出	動物園
10月12日(日)	無し	小学校で町民運動会に参加	ボール遊び
10月13日(月)	無し	無し	
10月14日(火)	無し	無し	
10月15日(水)	11:15 園内歯科受診	無し	
10月16日(木)	9:30～ 塗り絵	13:30 ベグ割し	朝不穩、テーブルを倒す、職員にコーヒーをかける
10月17日(金)	10:00～ ドライブ(相模湖方面)	16:00～20:15 ガイヘルで外出	八王子焼肉「いきな黒瀬」
10月18日(土)	9:30～ ドライブ	13:00～17:00 父と外出	多摩動物公園
10月19日(日)	10:00～ ドライブ(津久井湖方面)	無し	
10月20日(月)	無し	無し	午後女性職員1名で見守り
10月21日(火)	10:00～ 散歩(牛鞍神社)	無し	
10月22日(水)	無し	無し	
10月23日(木)	無し	無し	
10月24日(金)	無し	無し	午後ダンスの一部をめぐり割がす
10月25日(土)	まつりだ!やまゆり! 父母と参加	無し	
10月26日(日)	無し	無し	ダンスの板を割がす
10月27日(月)	無し	無し	夜ふとんに排便
10月28日(火)	10:45～ 散歩(善勝寺)	無し	
10月29日(水)	無し	13:30～	
10月30日(木)	無し	13:30～ ドライブ	
10月31日(金)	無し	無し	

2014年10月の個人記録を分かりやすくまとめたもの

10月12日に、町民運動会のボール遊びに参加とあるが、時間にして1時間足らず、これが地域との交流と言われるものの一つなのだが、在籍していた4年間でこの1回だけである。

11月の初めに1泊旅行とあるが、年に一度2、3人ずつ連れて行ってもらっていた。体の状態などもあって、全員が行ける訳では無いようだったが、結構職員も張り切って連れて行っていたようだし、これは息子も楽しんでいただろう。

2014年11月

日 付	午 前	午 後	備 考
11月 1日(土)	11:15~17:00 父母と外出		サンシャイン水族館
11月 2日(日)	10:00~ ドライブ(宮が瀬方面)	無し	
11月 3日(月)	9:45~ ドライブ(宮が瀬方面)	無し	
11月 4日(火)	9:30~ 一泊旅行(伊香保温泉)	16:45 宿着	富岡製糸 こんにやくパーク
11月 5日(水)		16:30 帰園	流皮スカイランドパーク 水沢観音
11月 6日(木)	無し	無し	
11月 7日(金)	10:00~14:30 目的別外出	相模原麻溝公園	園内動物園
11月 8日(土)	9:30~11:00 ドライブ(藤野方面)	13:00~17:15 父母と外出	昭和記念公園
11月 9日(日)	9:45~ ドライブ		
11月10日(月)	無し	無し	午後時折表情が曇る
11月11日(火)	9:30~ ドライブ	無し	職員の関わりが減ると落ち着かない
11月12日(水)	11:45 歯科受診	13:30~	夕食後、特定の職員の声かけて表情が変わる
11月13日(木)	無し	無し	前夜夜尿
11月14日(金)	無し	無し	
11月15日(土)	9:30~11:00 ドライブ(宮が瀬方面)	16:00~20:00 ガイヘルで外出	八王子「粉や」お好み焼き等
11月16日(日)	無し	無し	
11月17日(月)	無し	ビザの会 ミニビザ作り	
11月18日(火)	10:30~ 散歩(牛鞍神社)	無し	職員の関わりが減ると歩き回る
11月19日(水)	9:30~	無し	
11月20日(木)	無し	無し	
11月21日(金)	10:00~11:15 ドライブ(宮が瀬方面)	無し	
11月22日(土)	10:00~ ドライブ(城山方面)	13:00~16:20 父母と外出	
11月23日(日)	9:45~ ドライブ(宮が瀬方面)	無し	
11月24日(月)	10:00~ ドライブ(宮が瀬方面)	無し	ジュース購入
11月25日(火)	無し	無し	
11月26日(水)	無し	無し	
11月27日(木)	無し	無し	
11月28日(金)	無し	無し	
11月29日(土)	オギノパンへあんパンを買いに行く	13:00~17:00 父母と外出	前夜夜尿
11月30日(日)	9:30~ ドライブ(宮が瀬方面)	無し	

同じく2014年11月の個人記録のまとめ。無し(ホームに居るだけ)の多さが目に付く

また、ガイヘルで外出というのがあるが、職員に時間とその気があれば、行きたそうな利用者を食事などに連れ出してくれる、園独自の取り組みなのだが、ほぼ職員のボランティアであり、一部の利用者が出かけられただけのようだ。息子はたまたま他の利用者が一緒に行きたいと言ってくれたのと、目をかけてくれていた職員がいたお陰で、年に4、5回行っていたようだ。（全く行けない人の方が多かっただろう）ちなみに、1回のガイヘルにつき、後援会から職員に確か2千円が支給されることになっていたと思う。

土日は生活介護が無く、職員も少ないのでドライブくらいしかできないと聞いていたので、なるべく連れ出しに行っていたが、それ以外の日も、ほとんどホームに閉じ込められていた状態だったと言える。

■支援費と「代理受領書」

さて、昨日アップした2014年の10月の支援費を見てみよう。次ページのものは「代理受領書」（代理受領額通知書）といわれるもので、施設なり事業所なりが、利用者に代わり自立支援給付費を受け取ったという通知である。

前に書いたように、入所施設では給付費が2本建てになっていて、「施設入所支援」（緑色で囲んだもの）と「生活介護」（赤色で囲んだもの）に分かれている。

これらは担当市町村（利用者が18歳になる前日に住民であった市町村）から給付されるのだが、その半分以上を国が、4分の1を県が負担することになっている。（それ以外に食事、光熱費は利用者が負担するがそれにも補助があり、一番下の欄「特定障害者特別給付費」とあるのがそれで、右の58,417円から12,028円を引いた額を支払う）

見ると分かるように、10月のサービス利用日数23日とあって、「かながわ共同会」はその利用料30万円余りを全額受領している。

前に掲げた息子の個人記録を見ると、この10月に日中活動に行っているのは僅か13日であり、それも午前か午後だけが多く、それぞれ1時間半としても30時間にも満たない。それ以外はホームに居るだけで、多少職員が相手もするだろうが、ほぼ何もしないに等しいだろう。最も、日中活動に行ったとしても、1時間ほどのドライブや散歩等々、時間潰しのようなことばかりで、とても充実した生活をしていたとは思えない。

園の言い分だと、例えホームに居たとしても、それも生活介護なのだそうだ。それでこの額？と思うがどうだろうか。

一方、日中活動をもっと増やして欲しいと言うと、予算が無くて出来ないということも言われた。そのくせ「かながわ共同会」は毎年2億近くの利益を出し、総資産は40億とか言われている。こういう実態は、息子の個人記録を目にして初めて知ったことで、当時は園の説明通り十分とは言えないまでも、まあまあ楽しく過ごしているのだらうと思っていた。しかし当人は辛かったのだらう。部屋で排尿したり、物を壊したり投げたりと、記録を見るとかなり抵抗していたようだ。本当にかわいそうなことをしてしまったと思う。

代理受領書

市町村番号	141523
助成自治体番号	

平成 26 年 10 月分

受給者証番号	0101930295
支給決定障害者等氏名	平野 和己
支給決定に係る障害児氏名	

指定事業所番号	1412600155
事業者及びその事業所の名称	社会福祉法人 かながわ共同会 津久井やまゆり園
地域区分	10級地
就労継続支援A型事業者負担減免措置実施	

利用者負担上限月額①	0	就労継続支援A型減免対象者
------------	---	---------------

利用者負担上限額	指定事業所番号	管理結果	管理結果額
管理事業所	事業所名称		

サービス種別	32	開始年月日	平成 21 年 4 月 1 日	終了年月日	年 月 日	利用日数	31	入院日数	
	22	開始年月日	平成 26 年 6 月 1 日	終了年月日	年 月 日	利用日数	23	入院日数	
		開始年月日	年 月 日	終了年月日	年 月 日	利用日数		入院日数	

サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数	摘要
生活介護56・地公体・大事業所	222363	1,029	23	23,667	
生介福祉専門職員配置等加算Ⅰ	226035	10	23	230	
生介障害者支援施設転送加算Ⅰ	226666	791	1	791	
生介人員配置体制加算13・地公体	227053	190	23	4,370	
施設入所46・地公体	322265	259	31	8,029	
施設入所重度障害者支援加算Ⅱ1	325770	10	31	310	
施設入所処遇改善加算Ⅰ	326665	264	1	264	
施設入所夜勤職員配置体制加算5	327075	35	31	1,085	

サービス種類コード	32	施設入所支援	22	生活介護				合計
サービス利用日数	31	日	23	日		日		
給付単位数		9,688		29,058				38,746
単位数単価	10.54	円/単位	10.50	円/単位		円/単位	円/単位	
給付率	90	/100	90	/100		/100	/100	
総費用額		102,111		305,109				407,220
給付率に基づく請求額		10,211		30,510				
利用者負担額②		10,211		30,510				
上乗率調整(112)の内(少ない)額		0		0				0
事業者減免額								
減免後利用者負担額								
調整後利用者負担額								
上限額管理後利用者負担額								
決定利用者負担額		0		0				0
請求額		102,111		305,109				407,220
特別対策費								
自治体助成分請求額								

助成金	請求先都道府県番号	サービス種類	請求額	サービス種類	請求額

特定障害者特別給付費	算定日額	日数	給付費請求額	実費算定額
	388	31	12,028	58,417

代理受領日 平成 26年12月15日

■「すばるホーム」日常生活自体が虐待である、とさえ言えるのでは？

息子の暮らしていた「すばるホーム」の中の様子。おもちゃがわりに持たせていた携帯電話に撮されていたもの。（元の映像の日付は2016年4月17日（日）、事件の3ヶ月ほど前である。この日14:30から両親と動物園へ出かけているので、時刻はその前14:00くらいだろう）入口から食堂方面に移動している。昼食の介助も終わり、入浴まで少し時間があるので、3人いる職員もやや寛いでいる様子が窺える。



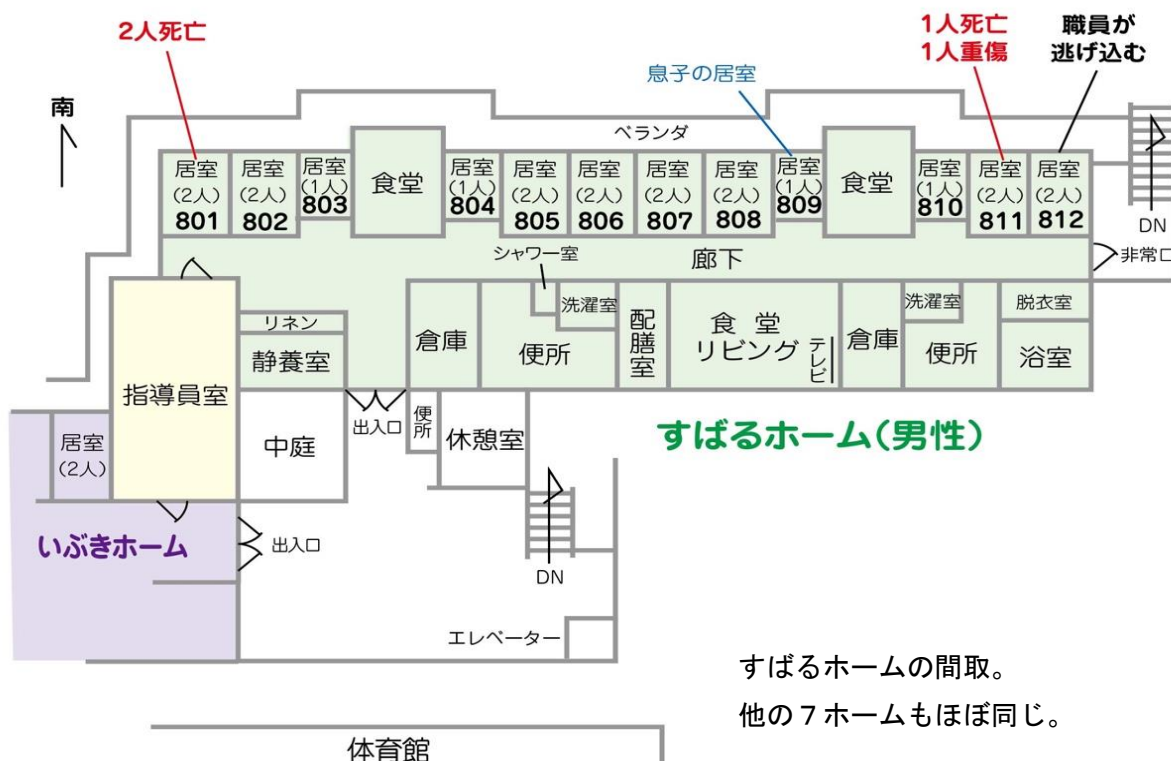
記録によると前日の土曜日はホームから全く出ていない。この日も日曜日なので日中活動は無く、午前中ドライブに行ったとあるが、ホームの全員では無いだろう。

いずれにしても、この決して広いとはいえない空間に20人ほどが生活し、1週間に3、4回、1時間から1時間半程度しか外へ出られない。親、保護者が来なければ、土、日も全く出ることが出来ない。そういった生活を、長い人で50年以上も続けていることになる。

また、改めて言及するが、この「すばるホーム」の真下、「みのりホーム」では日中活動以外、利用者を外に出さないということだった。

もはや日常生活自体が虐待である、とさえ言えるのではないだろうか。

津久井やまゆり園事件 (2017.7.26. AM2:00頃) 容疑者の侵入・逃走経路



すばるホームの間取。
他の7ホームもほぼ同じ。

■事件があった2016年7月の記録

事件のあった7月26日が載っている息子の個人記録と、6月、7月の記録をまとめたもの。そして6月の代理受領書。

個人記録				
平野 和己 様				
印刷日時 2016年08月01日 11:50:34 PAGE 5/6				
園長 部長 課長 寮長・主任 担当				
日付 時間	分類	記録者	記録内容	
			ておきましょう。」とお伝えすると持っていた本を置き、 ■■■■ 様の部屋から出られる。	
16/07/21 [16:30] (木)	[余暇]	■■■■	道志村までのマイクロバスドライブに参加する。	
16/07/21 [23:00] (木)	[生活]	■■■■	23:00食堂でのテレビ観戦を終えて就寝される。	
16/07/22 [10:00] (金)	[生活]	■■■■	10:00わいわい創作活動に参加され、陶芸を行う。粘土を練ることや伸ばすこと、型抜きなどを集中して行っていた。	
16/07/23 [12:00] (土)	[生活]	■■■■	起床後、落ち着いてテレビを観ている。(夏休みなので、テレビ番組の内容はイベント的なものが多い。)	
16/07/24 [11:30] (日)	[家族関連]	■■■■	11:30ご家族の迎えで外出される。20:15帰園される。山梨忍野方面へ出かけられ、サイクリングで公園を回って楽しまれたとのこと。	
16/07/24 [22:00] (日)	[生活]	■■■■	22:00ご本人が支援室に来ていたので、用事があるか何うと、帰園時に持っていたデジタルカメラの電源が切れていた。「充電しましょうか?」と声をかけると職員に手渡す。	
16/07/25 [09:30] (月)	[日中活動]	■■■■	午前、作業棟へ来てキーボードで遊ぶ。 その後、相模湖林間公園へのドライブに参加する。公園ではキャッチボールなどして過ごしている。「たのしいね」などの発言が聞かれ、楽しまれているようであった。	
16/07/25 [15:45] (月)	[生活]	■■■■	C5職員と共に入浴する。食堂にいる本人への声かけ、着脱衣、浴室から出る際の声かけはホーム長に依頼する。C5職員は近くで時折声をかけつつ、浴室内で洗体のみを行なう。	
16/07/26 [08:00] (火)	[生活]	■■■■	事件の影響で、本日より食事・就床も含めて体育館にて過ごす。	
16/07/27 [15:00] (水)	[生活]	■■■■	午後はDVDを見て過ごす。機械に触れることが多く、途中で止まることが度々ある。	
16/07/29 [09:30] (金)	[日中活動]	■■■■	9:35 作業棟着。すぐにトイレへ行く。 立ち歩こうとする様子があるが、まずはベグ挿しを行うよう声をかけると、席に着いて静かに取り組む。 9:45 ベグ挿しを終えて、次の課題を探しに来る。レゴに取り組む。「合体～」などと言いながら楽しそうに行う。 10:07 飽きた様子で席を立ったため、レゴを片付けて頂く。 10:10 金の鎖を手にして席に戻る。丸めたり伸ばしたりして、感触を楽しんでいる様子。 10:30 キーボードを始める。 10:35 ソファで電卓を操作する。 10:57 横になってくつろぐ。 下腹部を触っているのでトイレに行くよう促すが、すぐに戻って来て下腹部を触る。 11:15 体育館へ戻る。	

入所して1年くらい経ってから聞くと、日中活動にほぼ毎日行っているようなことを言われたのだが、記録を見ると行っても午前だけとかだし、驚くのはドライブの多さだ。

ドライブと言っても、車に乗って1時間から1時間半ほど近隣を回るだけで、殆ど降りないそう。よその施設の人に話したら「それ、監禁ドライブって言うんですよ」と教えてくれた。

行動障害のある方でも、車に乗っている間は大人しいということも多いようだ。

2016年6月

日 付	午 前	午 後	備 考
6月 1日(水)	ドライブ(宮が瀬)	無し	粘土遊び
6月 2日(木)	ドライブ	長距離散歩 15:30 津久井高校華茶道部	
6月 3日(金)	9:45~10:45	17:00~ ドライブ(宮が瀬)	
6月 4日(土)	笑顔がきらり(園祭)	父母が来園	両親が来るまで落ち着かず
6月 5日(日)	10:00~11:30 ドライブ(宮が瀬)	無し	
6月 6日(月)	9:35~10:47	無し	朝他人の部屋へ入る、物投げ
6月 7日(火)	ドライブ	無し	落ち着かず
6月 8日(水)	ドライブ(宮が瀬)	13:30~14:45	15:45 職員とボーリング遊び
6月 9日(木)	ドライブ	ドライブ	
6月10日(金)	無し	夕方ドライブ(宮が瀬)	朝食時スプーンを投げる等
6月11日(土)	無し	無し	不穏、職員を殴る、蹴る等
6月12日(日)	ドライブ	無し	
6月13日(月)	9:35~10:45	夕方ドライブ	
6月14日(火)	ドライブ	ドライブ	
6月15日(水)	ドライブ	無し	夕食後不穏なため散歩に出る
6月16日(木)	ドライブ	無し	
6月17日(金)	9:30~10:30 9:55 散歩	16:30~18:00 ドライブ	午前中落ち着かず
6月18日(土)	無し	無し	「お母さん来る?」と聞く
6月19日(日)	10:00~11:00 ドライブ	無し	
6月20日(月)	10:05~ 散歩(大通寺)	16:45~18:00 ドライブ	
6月21日(火)	ドライブ	11:15~17:45 父母と外出	
6月22日(水)	ドライブ	13:30~15:07	
6月23日(木)	ドライブ	ドライブ	未入浴
6月24日(金)	9:30~11:30 陶芸レク	無し 昼寝	
6月25日(土)	ドライブ(津久井湖、青野原)	無し	朝 他人の部屋に入り服を着る
6月26日(日)	誕生会	無し	
6月27日(月)	ドライブ	無し	
6月28日(火)	ドライブ	16:00~18:00 ドライブ(道志)	
6月29日(水)	ドライブ	ドライブ	他者の部屋に入る、靴を履く
6月30日(木)	ドライブ	無し	口内炎

のような支援は、決してうちの息子に対してだけではなかったのだろう。事件で亡くなられた方々も、同じような支援を受けていた人が多かったのではないだろうか。

少なくとも、あの方達がこういった支援を受けていたのかは明らかにしてほしい。楽しく暮らしていたとか、穏やかに過ごしていたとか、憶測で言うのはやめたほうがいいだろう。

2016年7月

日 付	午 前	午 後	備 考
7月 1日(金)	9:30~10:40	無し	他者に干渉
7月 2日(土)	ドライブ(津久井湖、根小屋、青野原)	無し	粘土、七夕飾り
7月 3日(日)	ドライブ(宮が瀬)	13:30~19:00 父母と外出	
7月 4日(月)	9:35~10:40	無し	夜尿
7月 5日(火)	ドライブ	夕方ドライブ	
7月 6日(水)	ドライブ 歯科診療	16:30~17:00 ドライブ	
7月 7日(木)	ドライブ	ドライブ	
7月 8日(金)	9:30~10:35	七夕会 映画 夕方ドライブ	
7月 9日(土)	ドライブ	無し	
7月10日(日)	ドライブ	13:45~18:30 父母と外出	多摩動物園 夜居室で排尿
7月11日(月)	9:30~11:00	無し	他人の服を着る 他人の服を着る、時計を付ける
7月12日(火)	ドライブ	ドライブ	
7月13日(水)	9:30~10:40	無し	
7月14日(木)	ドライブ	16:30~ ドライブ(愛川町)	
7月15日(金)	ドライブ	16:30~ ドライブ(厚木)	
7月16日(土)	無し	無し	
7月17日(日)	9:30~11:00 ドライブ(宮が瀬)	11:15~19:00 父母と外出	お台場方面
7月18日(月)	無し	無し	夜中居室に排尿
7月19日(火)	ドライブ(宮が瀬)	夕方ドライブ	浴室からなかなか出ない
7月20日(水)	ドライブ	夕方ドライブ	他人の部屋の本を持ち出す
7月21日(木)	起床が遅くグループ活動不参加	夕方ドライブ	
7月22日(金)	10:00~ わいわい創作活動(陶芸)	無し	
7月23日(土)	無し	無し	
7月24日(日)	11:30~20:15 父母と外出	山梨忍野方面	
7月25日(月)	作業等 ドライブ(林間公園)	無し	キャッチボール
7月26日(火)	事 件	事件の影響で体育館で生活	
7月27日(水)	無し	DVDを見て過ごす	体育館では落ち着きがない
7月28日(木)	ー	ー	
7月29日(金)	9:35~11:15	ドライブ	
7月30日(土)	DVDを見て過ごす	ー	
7月31日(日)	無し	14:00ー 父母と外出	

代理受領書

市町村番号	141523
助成自治体番号	

平成 28 年 6 月 分

受給者証番号	0101930295
支給決定障害者等氏名	平野 和己
支給決定に係る障害児氏名	

指定事業所番号	1412600155
事業者及びその事業所の名称	社会福祉法人 かながわ共同会 津久井やまゆり園 理事長 米山 勝彦 地域区分 4 級地 就労継続支援 A 型事業者負担減免措置実施

利用者負担上限月額① 0 就労継続支援 A 型減免対象者

利用者負担上限額	指定事業所番号	管理結果	管理結果額
管理事業所	事業所名称		

サービス種別	32	開始年月日	平成 21 年 4 月 1 日	終了年月日	平成 28 年 6 月 30 日	利用日数	30	入院日数	
	22	開始年月日	平成 26 年 6 月 1 日	終了年月日	平成 28 年 6 月 30 日	利用日数	23	入院日数	
		開始年月日	年 月 日	終了年月日	年 月 日	利用日数		入院日数	

サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数	摘要
生活介護56・地公体・大事業所	222363	983	23	22,609	
生介福祉専門職員配置等加算Ⅱ	226035	10	23	230	
生介障害者支援施設処遇改善加算Ⅰ	226711	1,367	1	1,367	
生介常勤看護職員等配置加算Ⅲ	226729	6	23	138	
生介人員配置体制加算Ⅲ・地公体	227053	190	23	4,370	
施設入所46・地公体	322265	260	30	7,800	
施設入重度障害者支援加算ⅡⅠ	325787	7	30	210	
施設入重度障害者支援加算ⅡⅡ	325788	180	28	5,040	
施設入処遇改善加算Ⅰ	326710	705	1	705	
施設入夜勤職員配置体制加算Ⅲ	327075	35	30	1,050	

サービス種類コード	32	施設入所支援	22	生活介護				合計
サービス利用日数	30	日	23	日			日	
給付単位数		14,805		28,714				43,519
単位数単価		10.66 円/単位		10.61 円/単位			円/単位	
給付率		90 / 100		90 / 100			/ 100	
総費用額		157,821		304,655				462,476
給付率に基づく請求額		15,782		30,465				
利用者負担額②		15,782		30,465				
上限月額調整(①②の内少ない数)		0		0				0
A型減免								
事業者減免額								
減免後利用者負担額								
調整後利用者負担額								
上限額管理後利用者負担額								
決定利用者負担額		0		0				0
請求額		157,821		304,655				462,476
特別対策費								
自治体助成分請求額								

助成金	請求先都道府県番号	サービス種類	請求額	サービス種類	請求額

特定障害者特別給付費	算定日額	日数	給付費請求額	実費算定額
	258	30	7,740	51,470

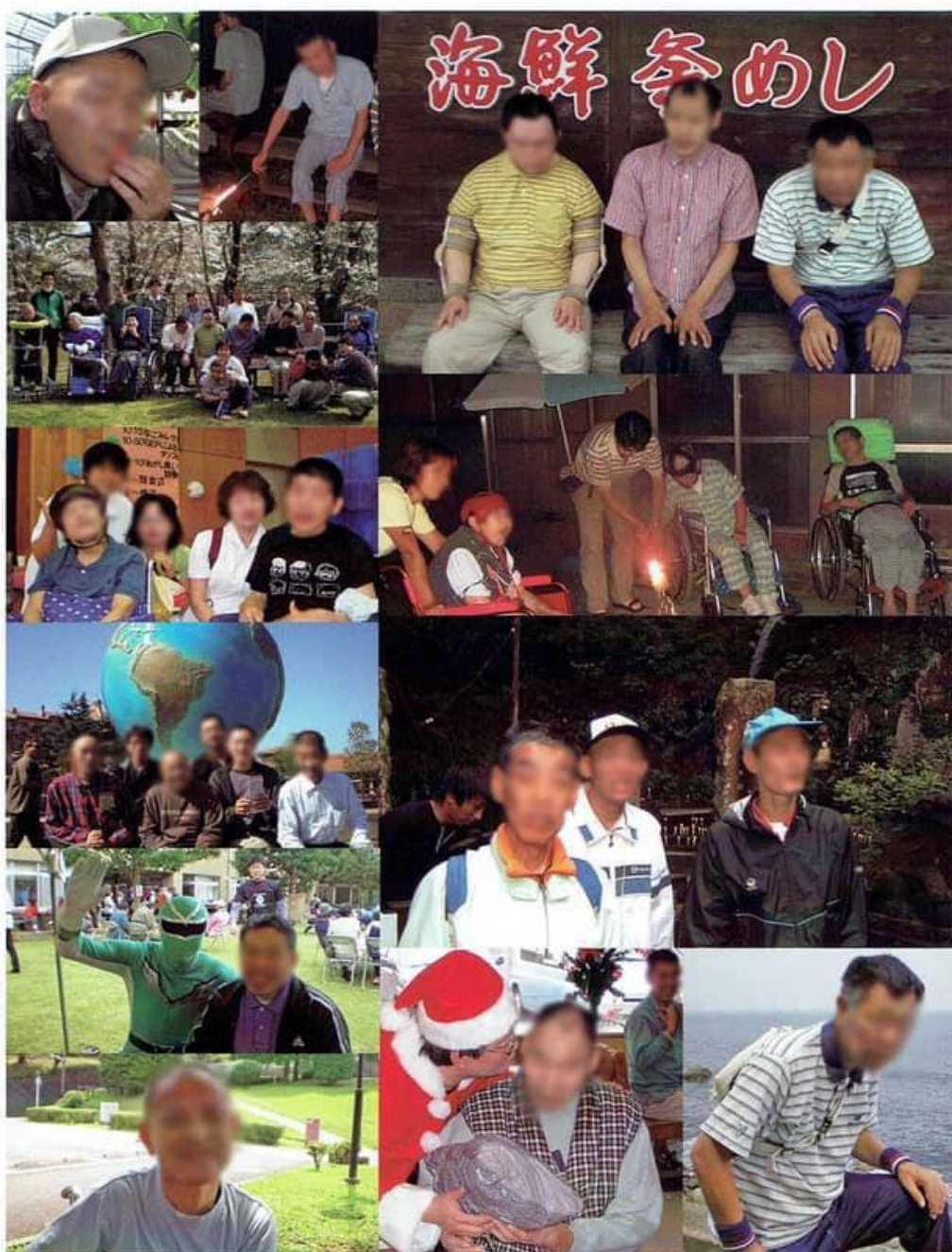
代理受領日 平成 28 年 8 月 15 日

■「鍵の中で」～植松 聖の見たもの

植松聖が「津久井やまゆり園」に就職して最初に勤務していたのは、東棟の1階にある「つばさホーム」だ。そして退職する時にいたのが、2階の一番東側の「のぞみホーム」。

「のぞみホーム」は隣の「ゆめホーム」と共に植松が侵入しなかったため犠牲者は出なかった。ここでは比較的軽度の方々が暮らし、それに比して「つばさホーム」は高齢の方も多く、重度の方が多かったようだ。介護も苦労があっただろう。

つばさホーム



のぞみホーム



のぞみホーム。比較的軽度の方が多いようだ。

植松が拘置中に記した「鍵の中で」という文章が「開けられたパンドラの箱／創編集部」に載っているが、あれは恐らく主に「つばさホーム」での光景が基になっているのではないと思われる。

植松も入職した当初は、介護の仕事にある種の希望を抱いていたのであろうことは、彼の残した言動からも推測できる。

また、彼の実家は園から5、6百メートルの所にある。幼い頃から、園外を散歩する利用者達を頻繁に見かけていたことは、想像に難くない。ホームから出て園の外に行く利用者達は、解放された喜びでにこやかに楽しげな様子であることが多い。

ところが園の中では、行動障害

で暴れたり、大声を出す者もいるだろうし、老齢や病気がちで外に出られない者、或いは拘束や施錠をされている者もいたようだ。そして職員の対応の様子。それらは植松の予想を大きく裏切るものだったかもしれない。

「つばさホーム」の写真の一部。車いすの方が目立つ。

彼の優生思想と言われるもの、それは彼が持ち込んだものでは

なくて、現場の中で植え付けられたもの、或いは元々彼の中にあった小さな芽が、園の中で培養されていったのだとも言えるのではないだろうか。

だとすれば、園の責任は決して小さくは無いだろうし、同様に我々保護者の責任も免れるものではないように思われる。



■虐待防止の取組みに関心示さなかった保護者会の会長、役員

事件が起きた前の年、息子が入所してから1年余りが過ぎた時に、家族会（みどり会）の評議員をやることになった。これは、それぞれ20人ほどの利用者が生活する8つあるホームから各1名ずつ選出されるのだが、評議員は年に8回ある家族会の日の午前中に開かれる評議員会に出席する。参加するのは、共同会からは理事長、常務理事、園長、支援部長、総務部長他が出席、家族会からは会長、副会長2名、書記、会計、そして8名の評議員など。

そこでその日の家族会（全体会）での報告事項などが伝えられ、また問題点などあれば協議することになっている。

その最初の会議またはお2回目だったかに、当時の小林均園長に「津久井やまゆり園」での虐待防止の取組みについて保護者会で説明してくれるようお願いした。

それは、実は息子がここに入る前にいた児童施設で虐待を受けたこと、そこはかなりオープンな施設ではあったものの、それでも他にも虐待があったし、虐待と疑われる案件も多々あったことなどからだ。施設というものは、そもそも虐待の温床になりやすいものだと考えていた上、たまたまその年の6月に、下関の施設で虐待があったこともあり、保護者の多くが関心を持ち、心配しているのではないかと思ったからだ。

そして2ヶ月後の11月の保護者会で、園から「虐待防止の取組み」についての説明があった。内

容はまあ予想通りというか、おざなりなものであったが、驚いたのは先の評議員会でもそうだったのだが、保護者会の会長、役員をはじめ、皆さんがほとんど関心を示さなかったことだ。よく言えば保護者の方々は、園を全面的に信頼しているのだと言えるかもしれない。しかし悪くとれば、利用者の待遇などどうでもいいと思っているようにも思えた。

翻ってみれば、あの時もう少し突っ込んでいれば、或いはもうちょっと議論を促していれば、もしかしたらあの事件を防ぐ幾ばくかの力になっていたかもしれない

。

画像は保護者会で園から配られたパンフレットの抜粋。

